

お子様が、自ら学び自ら考える力を身につけるとともに、心身ともに健やかに成長していくことができるように、「家庭での取り組みのヒント」として作成したものです。家庭教育5つのポイント「基本的な生活習慣」「ルールやマナー」「家族のふれあい」「家庭での学習」「地域での体験活動」を参考にして、日々の家庭教育に生かしてください。

家庭教育5つのポイント

基本的な生活習慣を身につけましょう。

子供にとって食事の時間、家族のだんらん、テレビやゲームの時間、就寝時間などの生活リズムを整え、生活習慣を確立することが必要です。また、充実した学校生活が送れるように十分な睡眠と栄養を取ること大切なことです。きちんと朝食を食べている子供は、勉強も運動もよく出来るというデータもあります。

子供は、外で元気に遊びまわらる中で、体力が向上することはもちろん、危険を回避する能力や判断力も身につけてきます。また、仲間と遊ぶことで、協調性やルールの必要性等を学ぶことが出来ます。

自分の使ったものをきちんと片付けることができるようにしましょう。例えば、席を立つ時や食事の後にきちんと椅子を入れる。玄関のくつをきちんとそろえる。自分の部屋や持ち物は整理整頓をする等の後片付けが身につくように心がけましょう。

ルールを守りマナーを身につけましょう。

社会生活を営む上で、ルールやマナーは大切なことです。「子供は親や大人が言うようにはしない。親や大人がすることをする。」(森信三)と言います。まずは、親が子供の良い手本を示すことが大切です。あいさつ、言葉遣い、TPOに合わせた服装、先祖や祖父母への接し方、交通マナー等、日頃の親の生活態度や考え方が子供の行動に直接影響するため、親の責任は重大です。

家族のふれあいを大切にしましょう

家庭は子供にとって最も心安らく居場所です。子供は、家族のあいだで交わされる温かい会話やだんらんを通して多くのことを学んでいきます。

「おはよう」「いってらっしゃい」「ただいま」「おかえり」「おやすみ」など気持ちの良いあいさつは、家族の絆を深めます。「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」は感謝の気持ちを育てます。「ごめんなさい」は素直な心を育てます。また、名前を呼ばれたり、話しかけられたりした時は、きちんと返事をするようにしましょう。相手を尊重する気持ちが育ちます。

親が子供の話を根気強く聞いてやることにより、子供自身が自分の考えや気持ちをきちんと相手に伝えることができるようにしましょう。親子のコミュニケーションを繰り返して

いく中で、相手の気持ちや立場を理解しながら人の話を聞くことのできる子供が育ちます。忙しい生活の中で、家族みんなで過ごす時間が少なくなりがちです。一緒に食事をしたり、お手伝いをしたりしている時に、一日の出来事を楽しく話すなど、普段の生活の中でできるだけ親子のコミュニケーションを持つことを心がけましょう。

子供にとって「手伝い」は“家族の一員として自分が期待されている”ということを感じ取る良い機会です。継続することで子供の責任感や自立心、自信が育ちます。そして、単に与えられた役割をきちんと果たすだけでなく、社会的な役割に気がついて、それを果たそうとする前向きな心を育てることにつながっていきます。

家庭での学習習慣を身につけましょう。

学校では、子供たちによりよい学習習慣を身につけさせるとともに、学習内容が定着するように日々努力しています。家庭でも基礎的な学力の定着を図るために家庭学習を充実させてください。家庭と学校がさらに連携を深め、より確かな学力を身につけましょう。

家庭学習のポイント

時間と場所を決め、家庭学習に取り組みましょう。

- ・短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合っ、学習時間の設定をして下さい。また、決まった場所で学習するようにしましょう。低学年のうち、食卓や居間など親の目の届くところがよいでしょう。

机の上を片付け、学習しやすい環境にしましょう。

テレビや音楽を消し、学習に集中しましょう。

- ・テレビをつけながら学習しても、効果は上がりません。子供が落ち着いた環境で学習できるよう、各家庭で工夫して下さい。

できるだけ一緒に学習してください。

- ・子供が学習したことにできるだけ目を通し、評価してあげてください。ほめたり励ましたりしてやることで、子供はどんどんやる気を出します。また、毎日目を通すことで子供の上達やつまずきに気づくことができます。学習の様子を把握しながら、親子あるいはご家族でできるだけ一緒に取り組んで下さい。

学校と連携しましょう。

- ・子供の学習の様子で、気になることがありましたら担任と相談してください。

家庭学習の方法

国語	算数	読書
漢字ドリル 漢字調べ(書き順) 教科書の音読 読書 国語辞典、漢字辞典を身近に置いていつでも調べられるようにしましょう。	計算ドリル 教科書の問題 テストやプリントの問題をもう一度解く 九九、繰り上がり・繰り下がりの計算、分数はきちんと身につくように繰り返し練習しましょう。小学校で学習する計算は、中学校での数学の基礎となるものばかりです。	○読書は、創造力や知性・感性を豊かにするなど子供の成長に欠くことのできない大切なものです。低学年のうちには読み聞かせをして読書の習慣が身につくようにしましょう。身近なところに本を置いていつでも読書できるように工夫しましょう。

日本地図、世界地図、地球儀を身近に置いておきましょう。

県名や県庁所在地、山脈、河川、平野、盆地等の名称や各地の特産物、産業等は小学校のうちにきちんと覚えましょう。

新聞の記事やニュースを話題にするようにしましょう。

自然や生き物とふれ合い、観察する機会を持つように努めましょう。

科学的な事象や社会の出来事に興味を持ち始めてきます。子供の疑問や質問は、できるだけ解決するようにしましょう。

地域でいろいろな体験活動を楽しみましょう。

地域での奉仕活動を行ったり、体験活動などをしたりすることで、豊かな心が育ちます。また、このような活動を継続することによって、社会の一員として自覚が芽生えていきます。地域の人たちとのつながりを大切に、豊かな心を育みましょう。人との関わりから「豊かな人間関係」を学ぶことで、心が育ち、社会的視野を広げることにつながります。

目標に向けて頑張っている姿や、努力の過程を褒めて、子供のやる気を育てましょう。